

2018 年度特集号「多変量解析を用いた言語研究」への 投稿論文募集のお知らせ

計量国語学会では、2016 年度特集号「WWW コーパスを用いた研究」、2017 年度特集号「文法と計量研究」に続き、2018 年度特集号への投稿を下記の通り募集いたします。

特集号タイトル 多変量解析を用いた言語研究

趣旨

多変量解析を用いた言語研究が登場してくるのは 1960 年代であるが、計算機やプログラミング技術の観点から制約も多く、当時は限られた研究機関に所属する限られた研究者によるものであった。1980 年代中頃以降になると、パソコンと安価とはいえないがパソコン搭載可能な有償の解析ソフトが普及することによって、多変量解析を用いた言語研究が急増した。一部に流通した比較的安価な解析ソフトもこの傾向を後押しした。さらに、2000 年代に入り多変量解析が可能な R 言語のようなフリーソフトウェアとそのマニュアルなどがインターネットによって浸透し、多変量解析を用いた研究は学部学生のレポートや卒業論文として目にすることも珍しくはなくなった。解析手法も多様化が進み、かつて主流であった量的データを用いる解析法だけでなく質的データの解析が可能な手法も登場している。分野、手法など時代によるトレンドがうかがえる一方、手法の多様化と多変量解析を用いた言語研究の一般化・多様化が著しい昨今である。とりわけ、探索的多変量解析の手法の普及が、言語研究に与えるインパクトは少なくないと考えられる。

このような状況を受け、計量的言語研究のさらなる活性化を目指し、「多変量解析を用いた言語研究」を特集テーマとしたい。本特集では、次のような論文を一般投稿として募集する。

- (1)多変量解析を用いた言語研究
- (2)言語研究に適用することが期待される新たな手法と分析事例の紹介
- (3)言語研究に益する解析ソフト等の紹介

スケジュール

2017 年 3 月 20 日 投稿受付開始

2018 年 3 月 15 日 投稿受付終了 (3 月 31 日ではありません。ご注意ください)

2018 年 9 月下旬 第 31 巻 6 号に掲載

(査読で改稿に時間を要した場合、次号以降の掲載になることがあります)

特集号原稿投稿宛先

submission@math-ling.org

通常の投稿先と同じです。投稿時に特集号への応募であることを明記してください。特集号への投稿についても一般の投稿と同じように査読を行います。今回の投稿カテゴリーは、「論文 A」「論文 B」「研究ノート」「研究資料」「書評・文献紹介」のいずれかとなります。

投稿と同時に当学会に入会することができます。その場合は、学会事務局にもメールでご一報ください。事務局のアドレスは、office@math-ling.org です。